

緊急手術における外科レジデント教育を目的とした Faculty-led structured mentorship model の実現可能性に関する前向き観察研究

◆ 研究の対象となる方

2026年4月1日から2027年3月31日までに、済生会福岡総合病院外科において緊急手術を受けられた患者さんのうち、外科レジデント教育機会として記録対象となった方。

◆ 目的・方法

外科レジデント教育において、緊急手術は術前判断、手術適応の検討、術中対応、術後管理を統合的に学ぶ重要な機会です。一方で、緊急手術への参加機会は偶発的であり、教育内容が体系化されにくいという課題があります。

当科では、緊急手術症例を活用した教育機会を構造化し、レジデントの臨床判断への関与、術中参加、自立度、振り返り、学術活動への発展可能性などを前向きに記録し、その教育モデルの実現可能性を検討します。

◆ 研究に使用する情報

診療録より、以下の情報を使用します。

- 手術日
- 疾患名(大分類)
- 緊急度分類
- 手術術式
- 手術アプローチ(開腹、腹腔鏡、ロボット等)
- 教育機会としての症例背景情報

なお、患者氏名、ID、生年月日、住所など、個人を直接特定できる情報は研究には使用しません。また、この研究のために新たな検査、採血、治療などをお願いすることはありません。

◆ 個人情報の取り扱い

使用する情報は、個人が特定できないよう匿名化または識別コード化したうえで管理します。研究成果は学会発表や学術論文として公表する予定ですが、個人が特定されることはありません。

◆ 研究への協力について

この研究にご自身の情報を使用してほしくない場合は、患者さんご本人または代理の方から下記連絡先までお申し出ください。お申し出があっても、診療上の不利益を受けることは一切ありません。

お申し出があった場合、その後研究に使用することはありません。ただし、既に匿名化され解析済みの情報については対応できない場合があります。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先	福岡県済生会福岡総合病院 外科 藤本 禎明 住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表)
--------	---